

古代アメリカ学会 第8回 東日本部会研究懇談会

<2017 年度修士論文発表会>

2018 年 3 月 25 日 (日) 13:00~

法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階「角会議室」

参加申込・不要 参加費・無料
非会員も参加可能

今回の研究懇談会では、2017 年度に修了される 4 名の大学院生を迎え、修士論文の内容についてご発表いただきます。内容は、メキシコ、エルサルバドル、コスタリカ、ペルーでの現地調査にもとづいており、多岐にわたります。学会員・非学会員からの積極的な意見・コメントを期待します。是非この機会にふるってご参加ください。

<プログラム>

13:00~13:05 趣旨説明

13:05~13:45 発表 1

荒木 昂大 (東北大学)

メキシコ トランカレカ遺跡の磨製石器研究

- 形成期における食物加工具の利用に関する考察 -

13:45~14:25 発表 2

久保山 和佳 (早稲田大学)

コスタリカにおけるヒスイ製ディオス・アチャ型ペンダントの研究

休憩 (15 分)

14:40~15:20 発表 3

深谷 岬 (名古屋大学)

古典期前期メソアメリカ南部太平洋岸地域におけるテオティワカン様式土器の受容

15:20~16:00 発表 4

金崎 由布子 (東京大学)

アンデス文明形成期後期から末期の社会変化とその過程

- ペルー北部中央山地ワヌコ盆地の事例を中心として -

<主催>

古代アメリカ学会 <http://jssaa.rwx.jp/>

<お問い合わせ>

市川 彰 (名古屋大学) ichiaki5@lit.nagoya-u.ac.jp

古代アメリカ学会事務局 jssaa@sa.rwx.jp *を@に換えてください

<会場>

法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階「角会議室」

JR 線・総武線市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分



ヒスイ製ディオス・アチャ型ペンダント © 久保山和佳

